

## カラムシ帽子

カラムシとは、イラクサ科の多年草で繊維が丈夫なことから着物の材料として使用されています。この繊維を使用して織った布を上布と呼びます。昔、越後上布などは奥会津からカラムシを購入して機織をしていました。近年はカラムシ織りをする人が少なくなり、産地として現在残っているのは宮古上布・八重山上布・越後上布と福島県昭和村だけになりました。昭和村のカラムシは、栽培技術と糸引きの技術が文化庁から選定保存技術の指定を受けています。

カラムシの帽子は製作者自身が栽培から、糸引き、糸紡ぎ、編み、染色などの行程を行っています。



男性用

染色なし

22,000円

昭和村産

仕入れ品。現品のみ